

# 想いをつなぐ、 未来を形に

株式会社 リそなホールディングス  
取締役兼代表執行役社長  
株式会社 リそな銀行代表取締役社長

東 和浩



## 心からの感謝を胸に、改革を継続

皆様には、日頃よりりそなグループをお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。

りそなグループは、2015年6月、当社に注入された公的資金の全額を完済いたしました。これまでの永きに亘る、国民の皆さま、お取引先の皆さま、株主の皆さま方の多大なご支援、ご協力に対しまして、心より御礼申し上げます。これからも、ご支援をいただいた皆さまへの感謝の気持ちを決して忘れることなく、「お客さまの喜びがりそなの喜び」という基本姿勢のもと、お客さまの目線で改革を継続してまいります。

今春からサービス改革の一環として、グループ銀行内振込みの24時間365日即時決済サービスを大手銀行で初めて開始いたしました。これまで金曜夕方の振込は月曜に入金というのが銀行の常識でしたが、新しいサービスでは土・日・祝日の振込も当日扱いになります。こうした取組みを一つひとつ丁寧に積み重ねていくことで、皆さまに支持される新しい金融サービスを形にしていきたいと思います。

## CSRは経営そのもの

りそなグループでは、CSRは経営そのものであると位置付け、「CSR経営=持続可能な社会づくりへの貢献」という方針のもとに、まずは本業の領域でお客さまや地域社会の期待にお応えしていくことが何より重要であると考えております。

我が国が高齢社会を迎え、次世代への資産承継や事業承継といったニーズが高まる中で、りそなグループが有する信託の機能や全国約600拠点のネットワークを活かし、こうした社会的課題に対処していくことは私たちが果たさなければならない大切な責務です。

## ボトムアップ型の地域社会貢献活動

また、りそなグループの多くの従業員が全国各地で社会貢献活動に参加しています。その最初のきっかけは、2005年にスタートした子ども向け金融経済教育「りそなキッズマネーアカデミー」でした。この10年間でキッズマネーアカデミーを開催する本支店等は210ヶ所まで拡大しています。キッズマネーアカデミーに参加してくれた子ども達、卒業生も2万人を超えました。この卒業生が将来、大人になって社会の様々なステージで活躍してくれることを大変楽しみにしております。

加えて2012年からは従業員が主体のボランティア団体であるRe:Heart倶楽部の活動を開始し、地域のマラソン大会のお手伝い、河川の清掃活動など、それぞれの地域に根差した自発的なボランティア活動を積極的に行っています。

## ダイバーシティ・マネジメントで新たな企業文化を

一方、ライフスタイルの変化やグローバル化の進展等に伴い、複雑化するお客さまニーズにきちんと対応していくためには、多様な価値観や発想を活かすことのできる組織でなければなりませんし、多様性を尊重することは社会共通の課題でもあります。こうした認識のもと、ダイバーシティ・マネジメント推進の一環として、女性の活躍を後押しする体制づくりを進め、既に、女性の管理職比率はグループ全体で21%を超え、さらに2020年には30%に高める目標を掲げています。引き続き、ダイバーシティを根付かせるため、体制整備を図るとともに意識改革や風土改革を進め、新たな企業文化を創造してまいります。

## すべては「お客さまの喜び」のために ～想いをつなぐ、未来を形に～

りそなグループは、変化するお客さまの課題や社会の要請に的確にお応えするべく、単なる「銀行」の枠組みを超えた「金融サービスグループ」を目指しています。さまざまな改革、新たなビジネスモデルの構築に果敢に挑戦しているのは、ひとえに「お客さまの喜び」を実現するためです。「りそなに行けば何でも相談できる」、そう言っていただける企業であり続けたいと思います。

今般、公的資金完済後の次なる10年に向けたグループの新たな指針として、「想いをつなぐ、未来を形に。」という新しいブランドスローガンを制定しました。お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの想いをつなぎ、お客さまの幸せな未来を創る、また、これまでの常識にとらわれない新しい金融サービスの形を創っていくという決意を込めています。

今、私たちりそなグループは、目指す姿である「リテールNo.1」の実現に向け、新しいスタート地点に立ちました。これまで公的資金に支えられてきたということをお忘れずに、改革を継続するという強い決意を胸に、グループ一丸となって取組んでまいります。

今後とも皆さま方の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。